

次期瀬戸市将来計画 基本構想 構成イメージ（案）

目次

I 基本構想	1
1-1 2040年の瀬戸	2
(1)なぜ2040年に着目するのか.....	2
あなたの想像する2040年は、どんな年ですか？.....	2
(2)変化する人口構造	3
(3)2040年に想定される社会	4
1-2 将来像	6
1-3 施策の大綱（将来像の実現に向けて必要な4つの要素）	8
【軸策】瀬戸らしいダイバーシティを実現する.....	8
【火】挑戦が育つ学びをつくる	8
【土】行動を生み出す環境をつなぐ	9
【技術】変化を促すテクノロジーと融合する.....	9
1-4 土地利用	10
1-5 計画の概要	11
(1)計画の目的	11
(2)計画の構成・期間	11

2040年 ——

それは、瀬戸での暮らしの大きな転換期となります。

人口減少が進み、様々な課題に直面する一方で、

多くのチャンスも到来します。

2040年、私たちはどんなふうに暮らしているでしょうか。

時代の変化をどう受け入れ、どう行動していくのかで、

私たちのみらいは大きく変わっていきます。

瀬戸に関わる全ての人で、

2040年の明るい瀬戸を創っていきましょう。

I 基本構想

1-1 2040年の瀬戸

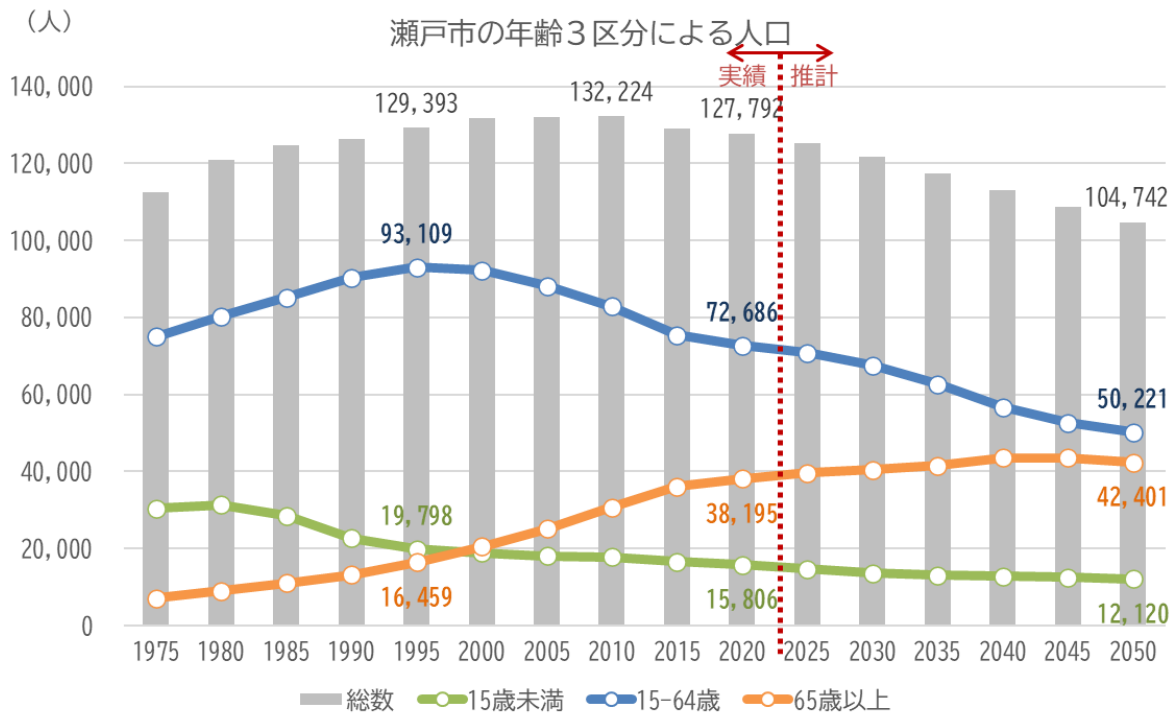
(1)なぜ2040年に着目するのか

- ・2040年、それは私たちの暮らしの大きな転換期です
- ・社会構造が大きく変化し、これまでの私たちの「あたりまえ」が変化していきます
- ・大きく変化する時代の中で、私たちはどんなみらいを描き、どんな暮らしを実現していくのか、瀬戸はどんなまちを目指せばよいのか——。
- ・目の前の課題だけにとらわれるのではなく、長期的な視点を持って2040年を迎えるために、2040年を見据えたまちづくりの指針となる将来像を、皆さんと共有します

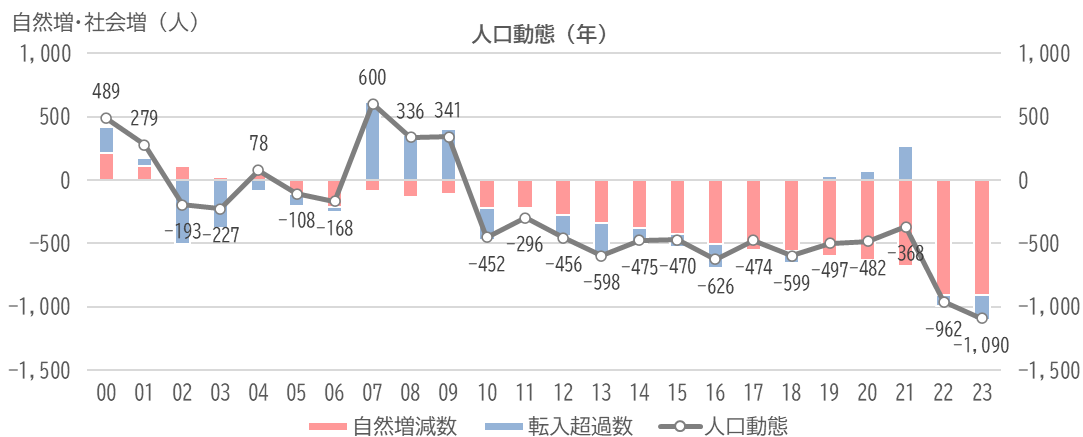
あなたの想像する2040年は、どんな年ですか？

(2)変化する人口構造

- ・ 瀬戸市の人口は 2010 年をピークに、減少傾向にある
- ・ 2040 年には、15-64 歳の生産年齢人口が人口の半数程度まで減少
- ・ 65 歳以上の高齢者人口は、2045 年をピークに、減少傾向に転じる



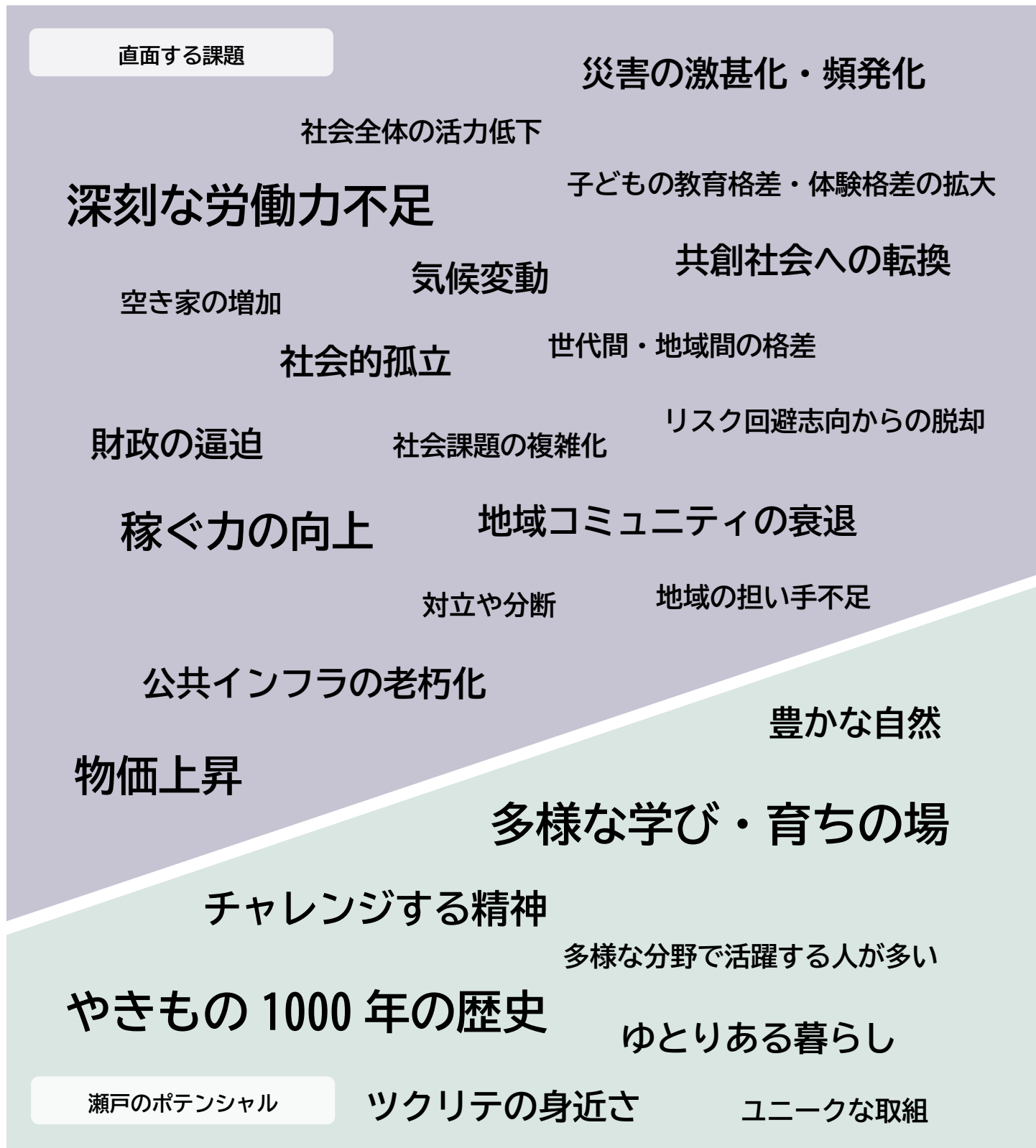
- ・ 現在の人口減少は自然減の影響が大きいため、出生や転入増加により抑制できる水準でない



- ・ 人口減少の抑制に取り組みつつ、人口減少を前提とした社会に適応していくことが重要

(3) 2040年に想定される社会

- ・人口減少を前提としたとき、2040年はどんな社会になっているでしょうか。
- ・直面する課題を悲観せずに正面から受け止め、到来するチャンスや瀬戸のポテンシャルを力にして、瀬戸に関わる全ての人が力を合わせて乗り越えていくことが重要です。



到来するチャンス

多様な人材の活躍機会の増加

イノベーションの創出

地方の関係人口増加

グローバル化

リニア開業による経済圏の拡大

多様化する職業キャリア

健康寿命の伸長

働き方の多様化

保有から共有へ

シェアリングエコノミーの拡大

「量」から「質」への価値転換

AI を核としたビジネスモデルの変革

地産地消の浸透

訪日インバウンドの拡大

助け合い

生活利便性

価値観の多様化

外の人を受け入れる雰囲気

地方回帰

暮らしに溶け込むやきもの文化

独自の教育

クリエイティブ

異文化交流の素地

人がやさしい

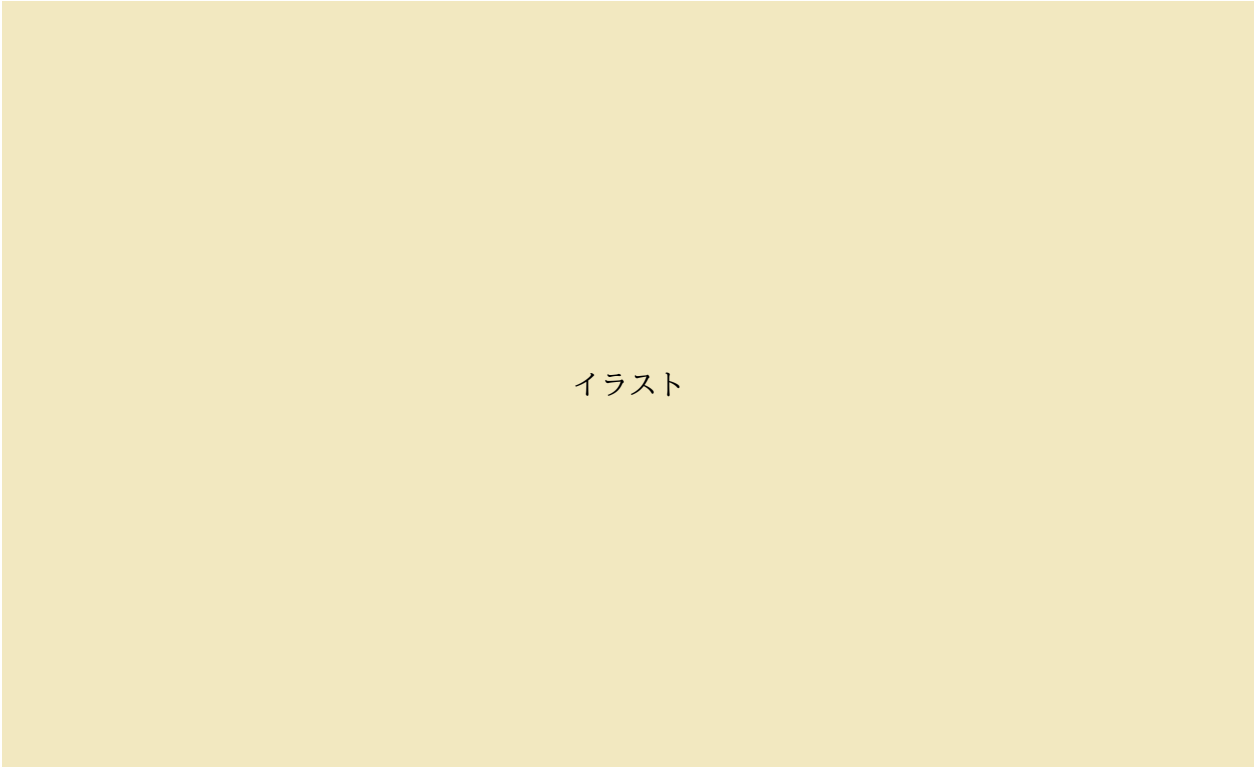
交通アクセスの良さ

外国人人口の増加

市民同士のつながりが強い

メインコピー

将来像に込めた思い



イラスト

ボディコピー

1-3 施策の大綱（将来像の実現に向けて必要な4つの要素）

【釉薬】瀬戸らしいダイバーシティを実現する

- ・高齢者や外国人、障害のある人はもとより、ツクリテ・やきもの作家やアーティスト、起業家など、多様な人たちや価値観が共存する状態
- ・多様な価値観が混ざり合い、未来に向けた新たな変化（価値の創出）を促す
- ・化学変化を一緒に起こすパートナーを増やす

イラスト

【火】挑戦が育つ学びをつくる

- ・アントレプレナーシップやチャレンジ精神を育む教育を推進する
- ・多様な学び／学び直しの中・機会をつくる
- ・ものづくりを通じた探求をすすめる
- ・挑戦を促す／失敗を許容する文化・風土を育み・挑戦を「瀬戸での当たり前」にしていく
- ・地域資源の価値化やまちへの循環につながる視点・志向を育む

イラスト

【土】行動を生み出す環境をつなぐ

- ・変化につながる資源／変化を促す環境を、最大限に生かす
 - ・1000 年続くやきもの文化・歴史
 - ・やきものづくりを支えてきた豊かな自然・資源
 - ・都市圏への交通アクセスの良さ、高い利便性…
- ・空き地・空き家など、課題に伴う新たな可能性を見出す
- ・未来に向けて残すべき地域資源を磨き上げる

イラスト

【技術】変化を促すテクノロジーと融合する

- ・デジタル技術を徹底的に活用する
- ・スタートアップをはじめ民間企業との官民・民民連携や、大学等との連携を推進し、新たな芽吹きを促す
- ・伝統と革新を融合し、新たな価値を生み出す
- ・データに基づくまちづくり（EBPM）を進める

イラスト

1-4 土地利用

次期都市計画マスタープランより転載予定

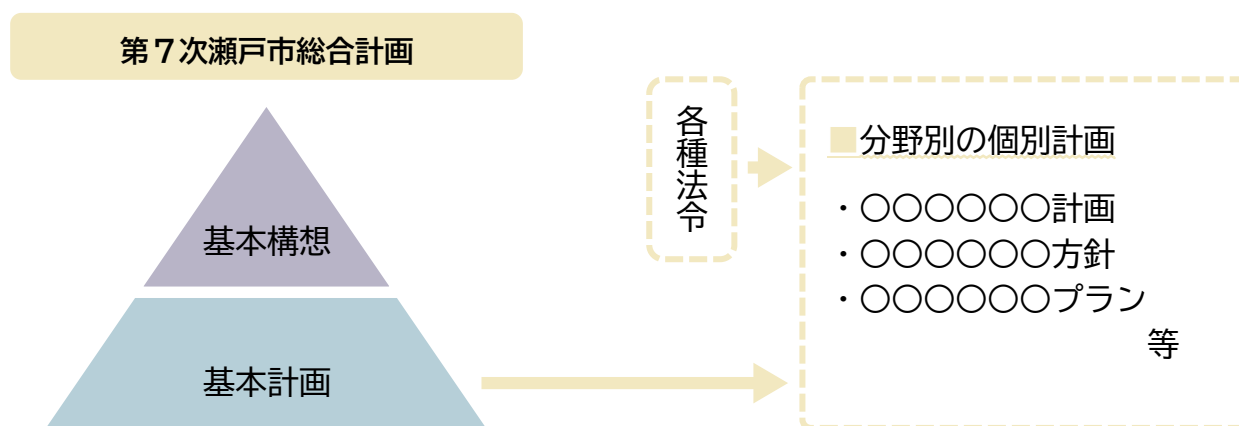
1-5 計画の概要

(1)計画の目的

- ・ 2040年頃を見据え、将来の瀬戸市のまちづくりの方針を描いた計画
- ・ 人口減少に伴う様々な社会課題が顕在化するのが2040年
- ・ 様々な課題に直面する一方で、チャンスも到来する
- ・ これまで育んできた瀬戸市の地域資源・ポテンシャルを活かし、チャンスを最大化する

(2)計画の構成・期間

- ・ 基本構想：2040年頃の瀬戸市のまちづくりの方針
- ・ 基本計画：基本構想を実現するための、概ね4年間の施策の方向性
- ・ 基本構想や基本計画の実現に向けた、具体的な事業は、分野別の個別計画において管理する



	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
基本構想	2040年頃まで													
基本計画	概ね4年				概ね4年				概ね4年				概ね4年	

